



『宮山古墳特別展』

2005年11月23日（水）勤労感謝の日、晴天に恵まれ自宅から歩いて20分ほどのところに11月12日開館した『姫路市埋蔵文化財センター』（愛称まい姫）に行ってきました。開館記念で『宮山古墳』の特別展を開催していたからです。古墳の前庭のような位置にあるセンターで初めて金の耳飾を見ました。これまで写真や本ではみたことがありますが、現物をみるのはこれが初めてです。今回の展示品はすべて、国の指定重要文化財でした。

宮山古墳は5世紀の後半に築造された直径30mの円墳で、3基の竪穴式石室がありました。それらの石室から金の耳飾、銀象嵌の環頭大刀、琥珀やヒスイの玉類などが出土し全国的に有名になりましたが、わたしの興味は鉄製品がたくさん出土したことです。鉄刀・鉄剣・鉄矛先・甲冑（かっちゅう）・馬具・鉄テイ・かすがい・鉄斧・鉄鎌・鉄鍬などです。

甲冑はかぶと、頸甲（けいこう）、短甲（たんこう）と一式出土しています。小札（こざね）を鉾で留めた甲冑は、その当時の最新技術で作られたものです。従来は小札を皮ひもで結んでいました。忠実に復元された複製品にはかぶとの先に3本の鳥の羽が付けられ、当時の武人の姿が彷彿としてきました。又、複製品の表面に黒い漆が塗られていましたので、学芸員の方に出土品にも漆の痕跡があったか尋ねましたが、痕跡は無かったとのこと。しかし、小札の出土状況から考えると何らかの防錆処理がしてあったに違いありません。



2号主体出土
 大小39本の刀剣
 含む銀錯貼金環頭太刀
 （ぎんさくてんきんかんとうたち）



宮山古墳

5世紀後半に築かれた直径30mの円墳で、尾根の突端部に位置している。昭和44年と47年の二度の発掘調査の結果、平行する二つの竪穴式石室の下にもう一つの竪穴の石室があることがわかった。土器のほか、刀・鏡・装身具など多様多量の遺物が出土した。中でも、二対の垂飾付耳飾り（たれかざりつきみみかざり）や金象嵌（きんぞうがん）太刀などは全国にも類例の少ない貴重なものです。

出土品は一括して平成10年6月30日に国の重要文化財に指定されました。県の指定史跡には昭和48年3月9日に指定されました。

平成11年3月 姫路市教育委員会

参考資料
 宮山古墳展 図録 姫路市埋蔵文化財センター 2005年
 宮山古墳 解説 姫路市教育委員会

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/ryou@memenet.or.jp>

5月14日より 電話番号が変わります。住所録を訂正してください。

新電話番号 079-234-1515 旧番号 0792-34-1515

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください！！